

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2001-201433(P2001-201433A)

【公開日】平成13年7月27日(2001.7.27)

【出願番号】特願2000-282771(P2000-282771)

【国際特許分類】

<i>G 0 1 M</i>	19/00	(2006.01)
<i>F 0 1 D</i>	21/00	(2006.01)
<i>F 0 1 D</i>	25/00	(2006.01)
<i>F 0 2 C</i>	7/00	(2006.01)

【F I】

<i>G 0 1 M</i>	19/00	A
<i>F 0 1 D</i>	21/00	U
<i>F 0 1 D</i>	21/00	W
<i>F 0 1 D</i>	25/00	A
<i>F 0 2 C</i>	7/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月14日(2007.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転機器の機械保護システムを動作させる方法において、

(a) 前記回転機器の振動の振幅及び位相を感知する過程と、

(b) 前記回転機器の動作モードに従ってベースライン振動振幅データ及びベースライン振動位相データを別個に格納することにより、ベースライン振動振幅データ及びベースライン振動位相データを単位円で格納する過程と、

(c) 前記感知された振動の振幅及び位相を前記ベースライン振動振幅データ及びベースライン振動位相データと比較する過程と、

(d) 前記過程(c)での比較に基づいて信号を出力する過程と、

(e) 前記過程(d)で出力された信号に基づいて前記回転機器の動作を制御する過程と、

を含み、前記方法は更に、

(f) 1時間にわたり累積されたデータを使用して1分ごとに短時間平均を決定する過程と、100時間にわたり累積されたデータを使用して15分ごとに長時間平均を決定する過程と、

(g) 短時間平均ベースライン及び長時間平均ベースラインを使用して前記ベースライン振動振幅データ及びベースライン振動位相データを追跡し、これにより現在平均データを先の短時間ベースライン・データと比較し、短時間ベースライン・データを長時間ベースライン・データと比較し、長時間ベースライン・データを初期状態ベースライン・データと比較する過程と

を含むことを特徴とする、方法。

【請求項2】 標準偏差の2倍越えたスパイクが無視される請求項1記載の方法。

【請求項3】 前記過程(c)は、前記ベースライン振動振幅データ及びベースライン振

動位相データを手動操作で入力することにより実行される請求項 1記載の方法。

【請求項 4】 あらかじめ定義された数のデータ値を収集した後、前記あらかじめ定義された数のデータ値に基づいて前記手動操作で入力されたベースライン振動振幅データ及びベースライン振動位相データを更新する過程を更に含む請求項 3記載の方法。

【請求項 5】 前記感知された振動の振幅及び位相が前記ベースライン振動振幅データ及びベースライン振動位相データをあらかじめ設定された偏差だけ越えた場合、警報を発生する過程を更に含む請求項 1記載の方法。

【請求項 6】 前記警報を発生する過程は、回転機器の運転を停止する過程を更に含む請求項 5記載の方法。